

第10回 関東ミックスダブルスカーリング選手権大会  
兼 第10回 日本ミックスダブルスカーリング選手権大会 代表チーム選考会  
大会開催要綱

大会名称	第10回 関東ミックスダブルスカーリング選手権大会 兼 第10回 日本ミックスダブルスカーリング選手権大会 代表チーム選考会
主催	関東ブロックカーリング協議会 東京都カーリング協会 神奈川県カーリング協会 栃木県カーリング協会 群馬県カーリング協会 山梨県カーリング協会 千葉県カーリング協会
主管	神奈川県カーリング協会
後援	公益社団法人 日本カーリング協会 軽井沢町
協力	軽井沢町風越公園 軽井沢アイスパーク
会場	軽井沢町風越公園 軽井沢アイスパーク 北佐久郡軽井沢町大字長倉1157-6 0267-48-5555
日時	2017年2月11日(土)～12日(日)
競技日程	2月11日(土) 8:00～8:10 受付 8:10～8:30 開会式、チームミーティング 9:00～20:00 予選リーグ 2月12日(日) 9:00～18:00 タイブレイク、決勝トーナメント 18:15～18:30 表彰 注 時間は変更される場合があります。
出場資格	各都県の代表チームであり、2016年度の日本カーリング協会に競技者登録されているメンバー2名で構成されているチームとする。 ただし、関東地区(茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨の8都県)に在住、在勤または在学しており、かつ関東ブロックの都県協会から競技者登録を行っている者が1名以上であること。なお、チームには指導者資格を有するコーチを1名加えることができるが、コーチは自他のチームに限らずメンバーを兼ねることができない。
登録	各チームが大会事務局に対して、2017年1月31日(火)までに出場チームとメンバーを提出することとする。 1月31日を過ぎてのメンバー変更は1名まで可能とし、大会事務局に届け出ること(リザーブの登録は認められない)。また、メンバー変更はチームミーティング(2017年2月11日 8:10～8:30 実施)以降は認められない。 選手の派遣依頼は、チームで1名までとし、チーム内の1名は出場都県に所属していることとする。また、チームエントリーの際に派遣承諾書を添付すること。
チーム名	チーム名は地域名又は団体名(法人名)を含んだ名前とする。
ユニフォーム	ユニフォームは全員同一の物を着用することが望ましい。(2色揃えなくても良い)
参加チーム	8チーム(東京:3、神奈川:2、栃木:1、群馬:0、山梨:1、千葉:1)
参加費	1チーム 25,000円
試合方法	※変更する可能性があります。 【共通事項】 ■計時(シンキングタイム制)を行う。タイマーはすべて大会実行委員が担当する。 ■ハーフタイム以外の各エンド間のブレイクは60秒とする。 ■ブレイクおよびハーフタイムの残り時間が10秒以上あっても、両チームが準備できていれば次のエンドを開始して良い。 ■計測に要する時間はデッドタイムとする。 ■試合前練習は各チーム4分間とする。 ■LSDを実施する場合は、練習終了後リンク内に表示されている数字1→2に向かって投球する。各チーム2投ずつ(時計回り/反時計回りで別の人が投球)、2投の合計が少ないチームに先攻・後攻を決める権利が与えられる。チームのLSDが同値の場合は、最小値投球者により決定する。LSDで決定できない場合は、コイントスにて決定する。

- 最終エンドを終えて同点の場合は1エンドのエキストラエンドを行い(両チーム持ち時間3分、決勝トーナメントではチームタイムアウト1分間×1回)、それでも決着しない場合はチームの代表者のドローで勝敗を決する。
- 試合開始時のストーン配置は、審判長が決定する。
- エンド開始時のストーン配置は各チーム同意のもと、原則として選手が行う。その際必要があれば審判に裁定を委ねることができる。
- その他、ルールに定められていないことが起こった場合は、審判長の判断に従う。

**【予選リーグ】**

- 2ブロックに分け、各リーグで1回戦総当りを行う。
  - 試合は8エンド、両チーム持ち時間22分、ハーフタイム5分、チームタイムアウトなし、エキストラエンドもチームタイムアウトなし。
  - LSDを実施して先攻、後攻を決める。
  - 予選リーグ3試合を通じ、各選手はLSDの投球で時計回り・反時計回りをそれぞれ最低1投は投げる。
  - 組み合わせの左側のチームが赤色のストーンを使用し、LSDの先攻とする。
  - DSCはLSDの平均(一番悪いLSDはカット)とする。
  - 予選リーグの順位は、下記①～④の優先順位により決定する。各リーグ上位2チームが決勝トーナメントへ進出する。
    - ① 勝利数の多い順
    - ② 当該チーム間の勝敗(勝利数の多い順)
    - ③ 当該チーム間のDSCの成績(DSCの良い順)
    - ④ 当該チーム間の一番良いLSD(LSDの良い順)
- ただし、①のみでは決勝トーナメント進出の2チームが確定しない場合、競技規則(後述)の準決勝出場チーム決定のためのタイブレークチャートを準用して、最大一段階のタイブレークを行い順位を決定する。

**【タイブレーク】**

- 組み合わせは準々決勝、準決勝出場チーム決定のためのタイブレークチャートに基づき、実行委員が決定する。
- 試合は6エンド、両チーム持ち時間17分、ハーフタイムなし、チームタイムアウト1分間×1回。

**【決勝トーナメント】**

- 予選各リーグ上位2チーム(計4チーム)によるトーナメントを行う。
- 試合は8エンド、両チーム持ち時間22分、ハーフタイム5分、チームタイムアウト1分間×1回。
- エキストラエンドは、両チーム持ち時間3分、チームタイムアウト1分間×1回。
- もし予選リーグが同じだったチームが対戦する場合は、予選リーグでの勝利数の多いチーム(勝利数が同じ場合は直接対決の勝者)が1エンド目の先攻、後攻を選択し、1エンド目の先攻のチームがストーンの色を選択する。LSDは実施しない。
- もし予選リーグが別だったチームが対戦する場合は、予選リーグのDSC成績上位チームがストーンの色またはLSDの順番を選択できる(DSCの成績が同じ場合はコイントス)。先攻後攻はLSDで決定する。

表彰	上位3チームを表彰する。また、1位のチームに次年度の関東ミックスダブルスカーリング選手権大会のシード権を与える。
抽選	大会事務局および審判長にて、事前抽選を実施する
競技規則	<p>日本カーリング協会(JCA)競技規則 2015年1月版および2016年2月版改定事項、およびWCF年次総会2016にて決議された事項、および本大会ローカルルールによる。2016年2月版のJCA競技規則改定内容は、JCAホームページよりご確認ください。  <a href="http://www.curling.or.jp">http://www.curling.or.jp</a>          (TOPページ→JCA専門委員会から→競技規則改正についての解説 2016.2/4版)</p> <p>※ティーを覆ったストーンの計測方法に関する部分は適用しない          (ボタンにかかったストーンは0.0cm、ハウスに入らなかったストーンは、185.4cmとする)</p> <p>※今大会は、使用するブラシについては、制限をしない。          必ずしも、WCF公認パッドを使用する必要はない。毛ブラシの使用も可とする</p> <p><b>【WCF年次総会2016にて決議された事項】</b></p> <p>※タイムアウトの時間は固定(移動時間+60秒)し、コーチがいるかどうか・コーチがプレーエリアに来ているかどうかに関わらず、すべてのチームにその時間を与える。</p> <p>※スウィーピング動作はいかなる方向でも良く(ストーンの幅全体をカバーする必要なし)、動いているストーンの前にゴミを残さない。スウィープをやめる時は、ストーンのいずれかの端の外側でやめること。</p> <p>※ミックスダブルスで投球を守らなかった場合、(a)投球順を間違えて投げて、次の相手チームが投げる前に気付いた場合、ストーンはプレーから取り除かれる (b)投球順を間違えて投げて、次の相手チームが投げる前に気付かれなかった場合、プレーは続行。エンドの最初のストーンを投げる人がそのエンド投げるのが多くて2投となるようにする。</p>

申込先	<p>関東ブロックカーリング協議会ホームページ内の申込みフォームに必要な事項を入力の上送信すること。</p> <p><a href="http://www.kantocurling.com/kanto-md2016form/postmail.html">http://www.kantocurling.com/kanto-md2016form/postmail.html</a></p>
申込期間	<p>申込期間 1月23日(月)～1月31日(火)</p> <p>参加費振込期間 1月23日(月)～1月31日(火)</p>
大会事務局	<p>第10回 関東ミックスダブルスカーリング選手権大会 兼 第10回 日本ミックスダブルスカーリング選手権大会 代表チーム選考会 事務局</p> <p>問合せ先: akcc-ml@kantocurling.com</p>
その他	<p>本大会成績の上位2チームには、第10回日本ミックスダブルスカーリング選手権大会の出場権を与える。当該チームが日本選手権出場を辞退した場合は、順位下位チームへ出場権が与えられる。</p> <p>メンバーの変更は認めない(不慮の事態が発生した場合は審判長が判断)。</p>
レセプションについて	レセプションは実施しない。
宿泊について	宿泊の手配は各自で実施する。